



応用物理学会 若手チャプター

半導体物性・評価研究会



半導体物性・評価研究会
Semiconductor Physics & Characterization Group

【設立】2026年

【趣旨】半導体材料を主対象として、既存のコミュニティの枠にとらわれず、分野横断的に基礎物性の理解と各種評価法を共有することで、イノベーションの種となる「異分野の知見との新結合」の実現を目指す。

半導体物性・評価研究会について

新機能を発現する次世代半導体デバイスの開発には、その根幹を成す基礎的物性を様々な視点から包括的に評価（電氣的、光学的 etc.）・理解することが必要不可欠です。また同時に、上記は未知の物性探索にも繋がり得るとの共通認識から、普段は異分野に属する若手の半導体物性研究者が集うことで、2026年に本会は発足しました。

自身のコミュニティでは通常取り組まれない評価・解析手法に積極的に触れることで生じる新たな議論・解釈を通じて、本会が参加者の皆さん自身の研究活動の一助となることを願い、活動を行っています。

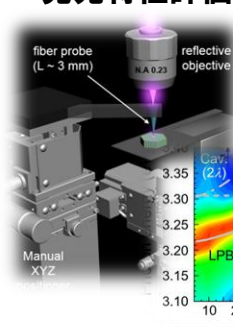
主な活動内容（予定）

- ・半導体材料の物性探索・評価解析を主対象として研究会を定期的に開催
- ・各研究施設の見学会を開催（実験設備）

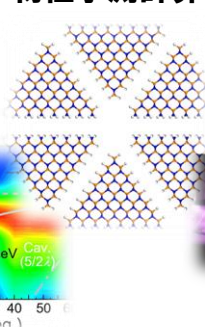
今後の研究会や見学会等の予定はHPにて順次公開



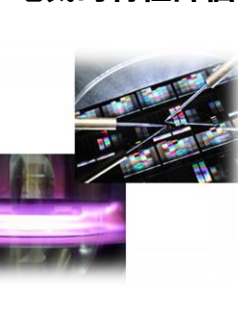
発光特性評価



物性予測計算



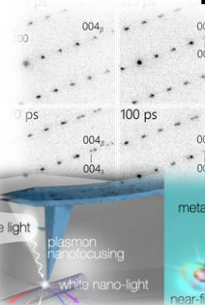
電氣的特性評価



電子状態評価



構造評価



参加者の研究領域（例）

ワイドギャップ半導体光物性、SiC MOS界面評価、近接場光学顕微鏡観察、ペロブスカイト光物性、第一原理計算、DLTS測定、高速AFM測定、走査型プローブ顕微鏡観察、プラズモニクス、レーザ光電子分光、窒化物半導体電子デバイス、電子顕微鏡観察、半導体スピン注入デバイス、Siナノフォトニクス、ダイヤモンドカラーセンター、機能性酸化物、遷移金属ダイカルコゲナイド、etc.

幹事メンバー（2026年1月時点）

(代表)	市川 修平	大阪大学
(副代表)	石井 良太	京都大学
(副代表)	嶋 紘平	東北大学
	小林 拓真	大阪大学
	杉本 泰	神戸大学
	馬越 貴之	大阪大学
	山田 晋也	大阪大学
	木下 圭	東京大学
	山下 尚人	九州大学
	片山 司	北海道大学

草場 彰	九州大学
太田 優一	富山県立大学
大内 祐貴	富士電機(株)
森岡 直也	京都大学
堀田 昌宏	名古屋大学
今林 弘毅	福井大学
曲 勇作	高知工科大学
林 侑介	物質・材料研究機構
梶野 祐人	九州大学
鐘ヶ江 一孝	京都工芸繊維大

参加メンバー募集中！！

今後の開催予定の研究会・交流会の情報をお伝えします

<詳細はホームページで> <https://sites.google.com/view/jsapsemiconwakate>